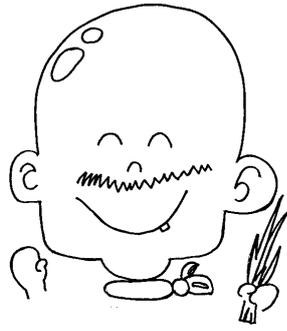


# 農大同窓会報

いあいさつ



日頃は、同窓会活動に御理解、御協力を賜り誠にありがとうございます。

本年度は、在校学生数200名。定員ピッタリという偉業(?)を成しとげました。新寮完成の効果もあったのでしょうか、関係各位、職員の方々の日頃の努力の賜物であり、大いに敬意を表したいと思います。受験者数が定員を上回れば、定員は確保できると思いがちですが、事はそう単純ではありません。入試に合格しても入学辞退者は必ずいるものなので、何名に合格を出すのかという問題も大きいのです。

## 会長 柴田 隆夫

もとより定員を上回る受験者がいなければ当然実現できません。農業後継者が激減している今日の現状からすると、これも大変な事なのです。まさに偉業と言つて良いと思われます。(ちなみに本校は、全国一の学生数です。コレもすごい！)

さて、偉業と言えば、本県瀬戸市在住の中学生棋士藤井四段のプロデビュー以来29連勝の爆発的な活躍に注目が集まりました。私は将棋には全くうとい方だったのでありますがあまりの出来事に、インターネット中継を10時間以上観続けたら、東京千駄ヶ谷の将棋会館に足を運んだり、対局前の藤井四段に会いに行ったりと、まさに釘付けになりました。いろいろなプロ棋士がコメントを寄せていますがその中でも羽生二冠(元七冠達成)の発言がとて印象的でした。羽生二

発行所  
愛知県立農業大学校同窓会  
岡崎市美合町字並松1-2  
電話(0564)51-1601  
編集発行人  
同窓会長 柴田 隆夫  
印刷所 (南)イヅミ印刷所  
電話(0564)21-2657

冠は、ご存じのとおり、中学生プロ棋士としてデビュー以来記録を次々と打ちたて、将棋に無関心であった一般の方にまで名が知れ渡った現役のレジェンドです。

現在でも二冠のタイトルを保持しており、25年以上トッププロ中のトップに君臨し続けている存在です。

羽生二冠が将棋界に残した功績として挙げられるのが四百年にも及ぶ将棋の歴史の中で研究され作り上げられた定石を全面的に見直し対戦相手が定石の戦形を整える前に形勢を自身側に優位に持ち込む、いわば新しい定石を創造した事。終盤に今までの常識では考えられない新しい戦法を編み出し続けた事にあると言われています。当時のプロ棋士の間では、この事態に対応不能になり七冠達成を阻止できず独走を許す事になったのです。しかし数百年かけて完成された正しい目を向け、それを超える創造をなすとげ20年以上トップの

座に君臨し続ける事は本当に至難の技です。その羽生二冠の口から藤井四段の登場と活躍に「驚愕です。」「スゴイ人が出てきました。」「新しい時代の到来を感じさせる。」「と言われたところが、またまたスゴイのです。いつの時代も若者が新しい時代を開くという事実の象徴的な出来事であったと思います。我々もついで常識や固定観念に



いあいさつ

同窓会員の皆様方には、益々御健勝で御活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃から、柴田隆夫会長を始め、同窓会の役員、理事、会員の皆様方には、本校の円滑な運営に格別の御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、私は、この4月に農業大学校長を拝命いたしました三浦と申します。前任地の県庁食育推進課(29年度からは食育消費流通課)から異動してまいりました。私は農業大学の勤務は初めてで、着任以来、副校長始め周りの職員からサポートを受けて執務に励んでおりますが、同窓会員の皆様方には、前

とらわれがちですが、新しい発見と創造に少しでも役立てられたいと思われたい。時代は常に動いており、農業界も激しい時代の流れにさらされています。新寮の完成で新しい力を得た農大の学生達も、新しい農業の創造に大いに邁進して欲しいものです。私達OBも微力ながらそのサポートが少しでも出来ればと考えるしだいです。

## 校長 三浦 貞志

任の藤井校長と同様、よろしくお願ひ申し上げます。

### 農大の近況

農大では平成28年度卒業式を3月9日(木)に執り行い、農学科89名と研究科6名が新たな進路に進みました。

農学科卒業生89名中、43名が就農(独立自営、後継者就農と農業法人への雇用就農)し、就農前提の一時就職や海外研修が6名、進学が4名、そしてJA等への就職が35名でした。研究科卒業生は、1名が就農、JA等への就職が5名でした。本県農業の担い手として、また、農業を支える人材として、卒業生

の今後の活躍を大いに期待して  
います。同窓会の皆様には、機  
会がございましたら、先輩とし  
てこれら卒業生への御指導、御  
支援をお願いいたします。

また、4月13日(木)に96名  
の新1年生を迎えて平成29年度  
入学式を挙行いたしました。30  
年3月をもって研究科が廃止さ  
れるため、本年度は農学科の新  
入生だけでしたが、当日は天候  
にも恵まれ、また、校内の桜も  
満開の中、新入生と多くの保護  
者をお迎えすることができまし  
た。新入生にとっても緊張の中  
にも晴れやかで思い出に残る入  
学式になったのではないかと思  
います。

96名の新入生を迎え、104  
名の新2年生と合わせて、在籍  
者は定員200名ちょうどとな  
りました。昨年新装なった和耕  
寮も満室状態となり、活気に満  
ちた農大生活が始まっています。  
一方、研究科は、大正7年に  
当時の愛知県農事試験場の練習  
生制度として発足以来100年  
の長きに亘る歴史を有していま  
すが、ついに本年度末をもって、  
その役割を終えることとなりま  
した。現在の2年生6名には研  
究科最後の学生として立派に巣  
立ってほしいと思います。

**追進館の取り壊し**

昭和10年に追進農場に建設さ

れた追進館は、天井が落下する  
など老朽化が著しく、また耐震  
性も確保できないことから、こ  
数年は利用することなく、立  
ち入り禁止とされています。本年  
2月の県議会で解体工事に要す  
る予算が認められ、本年度中に  
解体する予定です。同窓会員の  
皆様には名残惜しいことと存じ  
ますが、解体に併せて追進館の  
ミニチュアを作成し、中央教育  
棟の玄関ホールに展示すること  
としておりますので、御理解賜  
りますようお願いいたします。  
また、別項でも御案内してい  
ますが、追進館との記念撮影会  
を予定しています。追進館の最  
後の勇姿となりますので、ぜひ  
御来校の上、往時を偲んでいた  
だければ幸いです。

**専門職大学の動き**

平成28年11月に政府の「農林  
水産業・地域の活力創造本部」  
は、更なる農業の競争力強化の  
ための改革を図るため、生産資  
材価格の引き下げや、農産物の  
流通・加工構造の改革など13項  
目を内容とする「農業競争力強  
化プログラム」を決定しました。  
この「強化プログラム」の3番  
目の項目に、「農政新時代に必  
要な人材力を強化するシステム  
の整備」として、農業経営者を  
育成するためのキャリアパスを  
明確化するため農業大学の専

門職大学化を推進することなど  
がまとめられました。その法整  
備となる学校教育法の改正もこ  
の5月に国会で成立し、31年4  
月から施行されることとなりま  
した。

専門職大学となることで農業  
大学の魅力が増し、より多く  
の優秀な農業の担い手を育成す  
ることができるのか、また、現  
時的に文部科学省が今後定める  
設置基準に本校が合致するの  
現時点では不明ですが、今後、  
その対応を検討していくことと  
しています。

**最後に**

本県の新規就農青年数は、近  
年200名を上回る状況が続い  
ています。そのうち本校教育部  
の卒業生は20%程度を占めてお  
り、本県農業を支える優秀な人  
材の養成を行う本校の使命は  
益々重要となっております。この  
重要な使命を遂行するため、常  
に教育現場重視の視点で創意工  
夫や改善を図りながら、教育内  
容の一層の充実や円滑な学校運  
営に努めてまいりますので、同  
窓会の皆様にも一層の御支援を  
お願い申し上げます。  
会員の皆様の更なる御活躍と  
御繁栄を心から御祈念申し上  
げ、あいさつとさせていただきます。

◆◆平成二十九年 理事会だより◆◆

平成29年2月3日(金) 午前  
10時30分から、平成29年度農業  
大学校同窓会理事會が農業大学  
校中央教育棟研修室において開  
催されました。

柴田会長、藤井校長のあいさ  
つの後、柴田会長を議長に選出  
して議事が進められました。

第一号議案 平成28年度事業  
報告については、同窓会報の発  
行、役員会・理事会の開催、卒  
業生への記念品贈呈などにつ  
いて報告があり、異議なく承認さ  
れました。

続いて、第二号議案 平成28  
年度会計決算報告について説明  
の後、審議に入り異議なく承認  
されました。

その後、第三号議案 平成29  
年度事業計画について、及び第  
四号議案 平成29年度会計予算  
について説明の後、審議に入り  
両議案とも異議なく承認されま  
した。

続いて、第五号議案 役員  
の互選について、現在の役員を引  
き続き選出するとの原案どおり  
承認されました。

最後に、同窓会員の表彰につ  
いて説明があり、鈴木吉地様(昭  
和52年3月卒業)、富田孝様(昭

和54年3月卒業)、八木輝治様  
(平成3年3月卒業)の3名の  
功績が紹介され、記念品の贈呈  
が行われた後、すべての議事を  
終了しました。



記念品贈呈の様

**農業用機械の寄附を  
お願いします**

農業大学校で使用しているト  
ラクターなどの農業用機械は、  
購入から年数がかなり経過し、  
買い換えが必要な物が多くあり  
ますが、予算の都合により、な  
かなか更新できません。

同窓会員の皆さんの中で、中  
古の農業用機械を農業大学校に  
寄附していただけるようであれ  
ば、同窓会事務局まで御連絡を  
お願いします。

☎(0564) 51-1601

東海近畿ブロック  
同窓会長会議報告

平成29年度の東海近畿ブロック農業大学校同窓会長会議が平成29年6月6日(火)から7日(水)にかけて、京都平安ホテルを会場に開催され、富永副会長が出席しました。

会議は、東海近畿ブロック農業大学校校長会議と合同開催され、初日の全体会議では、主催者・来賓あいさつの後、近畿農政局による中央情勢報告及び、(株)杜若園芸代表取締役の岩見悦明氏による「これからの農業経営に必要な能力」と題した基調講演が行われました。その後、同窓会長会議の分科会議が開催され、同窓会の現状等について、活発な議論が交わされました。

次期理事会  
開催のお知らせ

同窓会規約により、平成30年度は次のとおり開催予定です。で、理事の皆様は出席をお願いします。

日時 平成30年2月6日(火)  
午前10時30分から  
場所 愛知県立農業大学校  
中央教育棟研修室

平成二十九年度  
役員名簿

Table with 2 columns: Position (e.g., 会長, 副会長, 書記) and Name (e.g., 柴田 隆夫, 富永 康典). Includes a list of names and their respective roles.

追進館について

農業大学の正門から入った南側に位置する追進館は、昭和10年に建設された木造平屋建の講堂で、建築面積四百九十平方メートルと当時では大規模な建物です。

建設の経緯は、昭和9年に設置された追進農場の前身である種畜場時代の実習生と昭和3年に開講された有畜農業実務講習会修了生で組織する「追進会」会員の協力や、一般農民の要望から大講堂の建設運動が起これ、それを受けて建設されたものです。

その後の歴史として、昭和21年には、天皇陛下が追進農場を訪問され、陛下の休憩所として追進館の貴賓室が使用されました。また、女優の宮崎あおいさんが主演し、平成18年に放映されたNHKの朝の連続テレビ小説「純情きらり」のロケ地としても使われました。



追進館の外観

その他には、講堂として卒業式、青少年クラブ大会、文化祭など各種行事や、一般県民を対象とした多くの催しが開催されました。

建物の特徴は、側面の柱と梁で描く大きなアーチが天井を支え、内部に中柱もなく、大空間を形作り、大架構建築の先駆けとなっていることなどです。



追進館の内部

記念撮影会を開きます

追進館は老朽化に伴い、3月17日及び5月31日付けの中日新聞に掲載されたとおり、今年度中に解体される予定です。

解体が行われる前に、同窓会員を対象とした記念撮影会を開催しますので、御案内します。

日時 平成29年10月30日(月)  
午前10時  
場所 愛知県立農業大学校  
追進館

※詳しくは、同窓会事務局までお問い合わせください。

教育部研究科  
(長久手キャンパス)  
平成30年3月  
をもって廃止

長久手市の愛知県農業総合試験場内にあります研究科は、大正7年に発足し、昭和59年4月には農業大学の研究部となりました。さらに平成16年度からは、農業大学校教育部研究科に改組され現在に至っています。

昭和59年の開校以来、最後の学生となる現在の2年生(6人)が32回生となります。平成28年度末までに498人の学生を輩出し、卒業生は、普及指導員、農協職員、農業関連企業職員、農業者(自営、法人就農)などとして各方面で活躍しています。

研究部同窓会では、廃校を惜しむとともに、今後の本県農業の発展に向けて会員一同の相互交流を図ることを目的に、平成30年3月に「記念大会」の開催を予定しています。同窓生の方は、ぜひ御参加ください。



## 農業大学の近況

(人数は入学式時点)

### 1 概況

農学科では、昨年3月に新学寮(和耕寮)の供用を始めて1年以上が経過し、旧寮で過ごした学生はいなくなりました。今の学生は、個室化により自分の自由な時間を持ったことで、むしろ寮の集団生活にメリハリができ、規則正しい生活習慣ができていくように感じます。

今年度の入学状況は、非農家出身者や女子の入学希望の増加に加え、新寮の効果もあったのか、昨年度に引き続き定員を上回る受験者がありました。合格者は定員と同数の100名となり、うち96名が入学しました。これにより、在籍者は新2年生を合わせ計200名となり、3年連続で学生数が全国で最も多い農業大学校になっています。なお、研究科は、今年度末でその使命を終えます。今年度は2年生6名が在籍しています。

### 2 農学科入学者の傾向

今年度の入学者96名のうち、非農家出身の学生は62名と10年前の2.7倍、女子学生は27名と10年前の2.3倍になり、近年の入学人数増加の要因の一つとなっています(右下表)。

また、県内の農業関係高校出身者は56名(全体の58%)と、昨年度よりやや多くなりました。専攻別では、野菜関係と果樹、酪農が引き続き多い状況です。

### 平成28年度農学科卒業生の進路

		(単位:人)	
就 農	後継者・独立自営	7	(8%)
	農業法人	36	(40%)
就農予定	一時就職	4	(4%)
	海外研修	2	(2%)
就 職		35	(39%)
進 学		4	(4%)
その他・未定		1	(1%)
合 計		89	(100%)

近年の売り手市場を反映し、本校への求人数も増加しています。就農、農業法人への雇用就業に合わせると、49名(55%)が就職先も、農協を始め、ほとんどが農業関連企業・団体でした。本校は、職業安定法に基づく「無料職業紹介事業」を実施して学生の就職を支援しており、年2回、農業法人等の求人元を本校に招いて合同就職相談会を行っています。

窓会議の皆様からの求人をお待ちしています。

### 3 農学科入学者数の推移

		(単位:人)	
年度	入学者	うち非農家	うち女子
19	60	23	12
20	81	41	18
21	64	33	14
22	94	55	16
23	94	59	23
24	72	42	13
25	86	52	17
26	92	57	24
27	97	71	24
28	106	74	33
29	96	62	27

### 進路状況

農学科卒業生の進路は左表のとおりです。後継者・独立自営

### 4 農学科各専攻の近況

〔鉢物・緑花木専攻〕 22名(1年8名 2年14名) ガラス温室や遮光室など施設15aと露地6aで、シクラメンなどの鉢花、洋ラン、花壇苗、観葉植物、花木、緑花木等、100品目以上を栽培しています。また、新たな品目を学びたいとの学生の要望も取り入れられています。



アンズリウムの出荷準備

〔切花専攻〕 26名(1年12名 2年14名) LEDや複合環境制御等を装備したガラス温室等の施設15aと露地3aで、県内の主要品目であるキクやバラ、カーネーションとともに、最近の消費動向の多様化に対応したストックやヒマワリ、ケイトウ、露地の小ギクなど幅広い品目を栽培しています。特にキクは、開花調整技術と品種を組み合わせて物日需要に合わせて出荷しています。また、本県育成品種をいち早く導入したり、バラではオリジナ



バラの出荷調整作業

〔作物専攻〕 13名(1年6名 2年7名) 9区画、計33haの田で、水稲、小麦及び大豆を栽培しています。収穫した米は乾燥調製の実習を行い、できた精米は、寮の食堂でも利用いただいています。また、大豆を使った味噌造りなど加工実習も行っています。本校には1haの大区画水田があり、作業能率が高い水稲不耕起V溝直播栽培を行っています。また、農業総合試験場が開発した新品種を県内でもいち早く導入していることが特徴です。



乗用田植機の実習

【果樹専攻】

30名(1年15名 2年15名)

露地2.5haで、ブドウ、ナシ、カキ、モモなど県内の主な果樹を栽培しています。また、ハウスではブドウ、ミカン、イチジクを栽培しています。最近では、県内で増加しているブルーベリーも始めました。また、ナシのジョイント技術やシャインマスカットなど、新技術・新品種も積極的に導入しています。さらに収穫した果実をジャムに加工する実習も行っています。入学当初は、多様な樹種の基本的な栽培管理技術を学びます。本専攻では一般農家より樹種が多いため、春から夏にかけては、各樹種ごとの摘果や袋かけ、収穫などの実習が連続します。その後、希望する樹種を決め、専門技術の習得とプロジェクト学習を始めます。今年度は、カキの袋かけ栽培やブドウの省力技術などをテーマにしています。



ナシの摘果作業

【露地野菜専攻】

29名(1年15名 2年14名)

露地畑1.5haでキャベツ、ハクサイなど県内の主要品目とともに加工用トマトやセルリーなど新品目も取り入れ、約40品目を栽培しています。また、ハウス内でも本専攻で担当し、ハウス内で高設栽培を行っています。本専攻では機械化による省力栽培を進めており、最近ではセル苗用の真空播種機を導入しました。とはいえ、猛暑の中や、雨がツパや防寒着を着込んで露地の作業実習に取り組む姿は、昔と変わっていません。本専攻では、プロジェクト学習は1人2課題(春夏作と秋冬作)を行います。各学生が責任を持って栽培管理と調査、収支計算を行い、実践的な栽培技術や経営管理能力も習得します。今年度は、春キャベツの保温対策やイチゴのマルチ被覆時期等をテーマにしています。



露地ナスの管理作業

【施設野菜専攻】

29名(1年15名 2年14名)

10棟合わせて40aの温室で、トマト、ナス、キュウリ、メロンを主に栽培しています。最近では、ココバック栽培や袋培地栽培など最先端のシステムも導入しています。また、農業総合試験場や種苗会社の協力により、ナス単為結果性品種やトマト耐病性品種など普及が期待される品種の実証試験に、いち早く取り組んでいます。本専攻では、昨年度、女子学生が3年ぶりに加わり、今年度は9名になりました。学生は、入学後の半年間で主要品目の基礎知識や技術を習得し、その後、希望品目に分かれ、専門技術等を学びます。プロジェクト学習は、露地野菜専攻と同様に1人2課題を行います。今年度は、トマトの低段摘芯密植栽培やナスの養液土耕栽培等をテーマにしています。



トマトの袋培地栽培と誘引作業

【酪農専攻】

29名(1年14名 2年15名)

ホルスタイン種の搾乳牛約25頭と育成牛15頭、肥育牛30頭、繁殖牛5頭を飼育し、酪農と肥育牛の両方の飼養管理技術を学びます。飼料畑では、牧草や飼料用トウモロコシを生産しています。本専攻は女子が多く、約7割が「酪農女子」です。ほとんどの学生が酪農は未経験で、朝夕2回の搾乳や給餌、除ふんなど基本的な管理を習得しながら牛の扱い方に慣れていきます。また、牛の出産や出荷など、命に関わる場面にも立ち会います。最近では酪農団体の協力を得て共進会に参加し、高度な技術を習得する機会となっています。2年生になるとプロジェクト学習に取り組みます。今年度は、蹄浴による蹄病予防の効果や繁殖検診の導入による空胎期間の短縮などをテーマにしています。



育成牛舎で給餌作業

【養豚・養鶏専攻】

22名(1年11名 2年11名)

本専攻では、入学後の5月に本人の希望により、養豚と養鶏のコースに分かれます。養豚コースは、約360頭の肉豚と種豚、母豚を飼育しています。人工授精による繁殖技術とともに、肥育から出荷までシステム化した豚舎で、一通りの飼養管理技術を習得します。また、ハムなどの加工実習も行います。養鶏コースは、名古屋コーチンを主体とした約2400羽の採卵鶏を、開放とウインドウレスの2方式で飼育し、学生は両方の飼養管理技術を学びます。販売実習では、生卵の他に洋菓子店に加工を委託したプリンも販売しています。今年度は、肉用鶏の飼育も行っています。プロジェクト学習は、養豚ではホルモン剤を利用した計画繁殖等、養鶏では肉用鶏の飼養管理等をテーマにしています。



肉用鶏の解体実習



全国農業大学校等プロジェクト発表会意見発表会で、2位に入賞

平成29年2月13日(月)15日(水)に、全国農業大学校協議会が主催し、愛知県が運営主体となった「平成28年度全国農業大学校等プロジェクト発表会・意見発表会」が、東京都の国立オリンピックピック青少年総合センターで開催されました。

今年度は、14日(火)の意見発表の部で、東海・近畿プロジェクトを勝ち進んだ真野陽太君(切花専攻1年)が、「バラ色の人生」を求めての課題名で発表し、各都道府県の精鋭10名の発表者の中で、最優秀賞に次ぐ特別賞「農業大学校同窓会全国連盟賞」を受賞しました。

発表時間途中に停電というアクシデントを乗り越え、全国一のバラ生産県愛知の後継者として、「真野さんのバラじゃなきゃダメなんだよね」を指し、地域とのつながり、世界のバラ生産の状況を踏まえ、生産物と経営方針のレベルアップを行う構想を熱く語り、審査員からは「大変わかりやすく上手な発表だった」「将来経営を担っていく意気込みが感じられた」といった高い評価を得ることができました。

15日(水)には、ワールド・カフェ方式の意見交換会での司会・進行係として円滑な運営に携わり、他の都道府県の学生との交流を深め、知名度を上げました。

この発表会は、全国の農業大学校等学生が日ごろから研究・勉強してきた成果、夢や希望を発表する場として非常に有意義な発表会であると感じました。



藤井校長とともに

☆☆☆ 名簿購入の御案内 ☆☆☆

《創立80周年記念》農業大学校同窓会名簿

平成26年11月、創立80周年記念事業に併せて15年ぶりの新名簿を発行しました。

まだ御購入されていない方は、是非とも御購入をお願いいたします。

名簿領価：1冊3,000円(消費税、送料込。振替手数料は別途)

お問い合わせは、同窓会事務局まで(電話0564-51-1601)

東海近畿地区農業大学校学生スポーツ大会(大阪大会)に出場し、めざましい活躍

東海近畿地区9校の農業大学校の学生が集うスポーツ大会が、5月25日(木)、26日(金)の2日間、大阪市舞洲スポーツランドで開催されました。本校からは、総勢77名の学生が、野球、バスケットボール、バレーボール、テニス、バドミントン、卓球の6種目に分かれ出場しました。

大会初日は、雨天により野球とテニスで競技日程が変更されました。

野球では、トーナメントは行わず親善試合となりましたが、投打とも元気ハツラツなプレーを見せ大会を盛り上げてくれました。

バスケットボールでは、決勝で岐阜農大との接戦を制し、見事優勝することが出来ました。選手たちは、「絶対に勝つ！」



相手のスパイクをブロックする農大生

という信念を持ち試合に臨んでいました。最後まであきらめない気持ちとチームワークで勝ち取った勝利といえるでしょう。個人競技では、多くの学生が応援した甲斐もあり、全種目で



バスケットボールで活躍する選手  
本校学生の奮闘結果

団体	優勝	バスケットボール
	準優勝	バレーボール、テニス
個人	優勝	卓球女子W、バドミントンS テニス男子S、テニス女子W
	準優勝	バドミントン男子S
	3位	バドミントン男子W、テニス男子W

この2日間の大会を通して、学生の先達の絆が深まってきた。と思いた。

お知らせ「農大だより」について

農業大学校では開かれた農大を目指して、「農大だより」を毎月発行し、各方面に配布し、本校ホームページにも掲載して広く公開しています。日頃の学習状況や学生の活躍、学校行事など様々な話題を写真とともに掲載しております。同窓会の皆様も是非ご覧ください。

本校ホームページ

「http://www.pref.aichi.jp/soshiki/noudai/」中の「農大だより」をご覧ください。また、「愛知農大」で検索しても、ほとんどの場合に本校ホームページを見ることができます。

入賞することが出来ました。特に卓球女子ダブルス、バドミントン男子シングルス、テニス男子シングルスと女子ダブルスは優勝と、愛知県のレベルの高さを他府県に見せつけました。宿泊ホテルでは夕食後、交流会が行われ専攻や府県の壁を越えて学生同士の会話ははずみ、楽しいひとときとなりました。

## 平成28年度海外派遣研修 ～ 広大な農地と生き生きと活動する農家に会いました ～

平成28年度海外派遣研修を、平成29年1月21日(土)から28日(土)の8日間、真夏のオーストラリアで実施し、農学科2年生88名が参加しました。

この研修は、国際感覚を高め広い視野で農業を見る感覚を養うため、毎年実施しています。今年度は、メルボルン市の北180kmにあるシエパトン郡を中心とする、オーストラリア有数の酪農及び果樹が盛んな灌漑農業地域を研修先としました。



メルボルン市内の世界遺産にて

### 1 農家視察等

美しい街並みの大都会メルボルン市に到着後、日本人8家族との夕食懇談会があり、節水は

必要だが緑は多く、治安も良いため住みやすいとの生活の様子を伺いました。



現地の日本人家族を囲んでの懇談会

翌日、シエパトン郡に向けて郊外へ出ると、広い大地に広大な牧場や畑、時々街並みが現れる風景が延々と続きました。

その途中で、果樹、花き、養鶏、酪農の農家を訪問しました。巨大な設備への投資や加工販売などで規模拡大した農家があれば、家族経営で良品生産一筋に頑張る農家もありました。どの農家も気さくに対応いただき、学生からの様々な質問にも、実演も交えて丁寧に答えていただきました。グッド・クエスチョン!と、質問内容を褒められた学生もいました。

### 2 郡庁での歓迎式

ファームステイを実施するシエパトン郡では郡庁主催の歓迎式が催され、郡知事から歓迎のあいさつをいただくとともに、地域農業の説明を受けました。



歓迎式で学生が英語であいさつ

学生側からは河村祐希君が、農大の概要やファームステイへの期待を、英語で語りました。同席していた郡庁の関係者や受入農家の皆さんから、盛大な拍手を受けていました。



大規模な搾乳施設で研修

### 3 ファームステイ

式典後、学生は2～4名に分かれ3泊4日のファームステイに入りました。地域の特徴からステイ先の多くが畜産農家になりましたが、学生と受入農家の双方がスマートフォンも駆使して相互に理解し合い、学生は農作業体験や農家生活を満喫していました。また、他の農家との交流やマーケットの視察、自然農法の体験などを行った学生もいました。

引率職員はすべての受入農家を巡回しましたが、学生に対する農家の評価は、とても高いものでした。



受入農家から有機野菜の説明を受ける

### 4 全体を通じて

研修先は好天に恵まれ、真夏ですが涼しい風も吹いたため、暑さで体調を崩す学生もなく、全日程を全員参加で進めることができました。

研修では、広大な農地とこれ

を支える大規模な灌漑設備、巨大な農機等を体感するとともに、規模拡大や6次産業化を進める農家、自分の信念で有機栽培、高品質化等に専念する農家など多様な農家に出会いました。そしてどの農家も消費動向等を把握し、品目の選定や栽培管理、飼養方法等に工夫を凝らしていました。また、家族内の分担を明確にして活動したり、農家仲間とスポーツを楽しんだり、農家生活をエンジョイしている姿に接しました。多くの学生が研修前に想像していた「機械化された大規模経営」とは、かなり違っていたようです。学生は、広い視野で農業を見る必要性を理解するとともに、農業経営の向上と併せて農家生活も充実させている姿に刺激を受けたと思います。この経験が、就農や就職後に活かされることを期待します。



広大な牧場を背景に農家と記念写真

## 研修部の各種研修紹介

研修部では、農業者が社会情勢の変化と進歩する農業技術に対応するための研修と、一般県民が愛知県の農業を理解するための研修を年間を通して実施しています。今年度実施する研修の定員総数は約三千百名ですが、研修によっては可能な範囲で受入れを増やしています。

### 〔1 農業者生涯教育研修〕

農業を担うべき者を対象に、農業者の発展段階に合わせた研修を行っています。  
担い手の確保を目的とした研修は、高校生を対象とした「緑



農業者育成支援研修

の学園研修」のほか、主にUターン就農者を対象とした「ニューファーマーズ研修」、新規参入や農業法人への就職を目指す「農業者育成支援研修」があります。農業者育成支援研修は、平成24年から実施し、主に農業以外の分野から新規就農を希望する方が農大のほかで栽培技術を学んでいます。

また、農業者が必要とする知識・技術をタイムリーに習得する「経営管理研修」、「生産高度化研修」、「農産物活用研修」を実施しています。

### 〔2 農業機械研修〕

農業を担うべき者を対象に、農業機械に関する知識・技術修得を目的とした研修を実施しています。

免許を取得する「大特免許研修」、「けん引免許研修」の他、研修修了証が取得できる「小型車両系建設機械研修」、「フォークリフト研修」、「アーク溶接研修」、「刈払機研修」等を実施しています。



けん引免許研修

農業機械に関する研修は、免許や研修修了証の取得に直結するだけでなく、安全で効率的な農作業に不可欠であるため人気が高く、中には受付開始初日で定員に達する研修もあります。

### 〔3 農業理解研修〕

県民が、愛知県の農業や食料に関する正しい知識を得て、農業・農村への理解と関心を深めるための研修です。

本年度の「県民公開講座」は、新たな取組として、小学生の親子を対象に、ほ場見学など農業者との交流を図る現地研修や、小学校の授業で野菜などの栽培実習を行う出前授業を実施しています。

また、園児や小学生等が農大の生産施設見学等を通じて農業に親しみ、農業を理解するための「農業ふれあい研修」を実施しています。

### 〔4 他機関との連携研修〕

公共職業安定所長から本校での農業研修受講の指示又は受講推薦等を受けた離職者を対象に、新たに農業経営を開始したり、農業法人等へ就職したりするために必要な農業の基礎的知識・技術を習得するための「雇用創出農業研修」を実施しています。

平成29年度に研修部が実施する各種研修一覧

研修名		回数	定員数
農業者生涯教育	緑の学園	5	150
	ニューファーマーズ	—	20
	農業者育成支援	—	15
	経営管理	4	290
	生産高度化	11	1,060
	農産物活用	2	55
農業機械	大特免許	6	120
	けん引免許	2	30
	大型トラクター作業	1	15
	小型トラクタ利用(初心者向け)	3	24
	農業機械士	1	30
	小型車両系建設機械	2	50
	フォークリフト	3	75
	アーク溶接	1	25
	刈払機	1	25
	玉掛け	1	10
小型移動式クレーン	1	10	
農業理解	県民公開講座	2	90
	農業ふれあい	—	1,000
雇用創出農業	—	30	
合計		—	3,124



小学校への出前授業

平成二十八年年度卒業式

愛知県立農業大学校教育部農学科第32回生、教育部研究科第31回生の卒業式が、平成29年3月9日(木)午前10時30分から、多数の御来賓の方々の御臨席をいただき、中央教育棟大講義室において盛大に挙行されました。

式では、農学科・研究科の卒業生95名を一人ひとり呼名し、代表者に校長先生から卒業証書が授与されました。

引き続き行われた表彰式では、農業大学校同窓会全国連盟会長始め各賞の表彰が行われ、18名が表彰を受けました。

また、同窓会から柴田会長が卒業生全員に記念品として、印鑑付きダブルペンを贈呈しました。

表彰式受賞者

優秀賞

〔愛知県知事賞〕

河村 祐希 教育部農学科

露地野菜専攻

水谷健太郎 教育部研究科

園芸農産専攻

〔全国農業大学校協議会長賞〕

戸川 幸奈 教育部農学科

果樹専攻

〔大学校長賞〕

飯田 真理 教育部農学科

露地野菜専攻

福田 恵 教育部農学科

鉢物・緑花木専攻

沢田 康輔 教育部農学科

酪農専攻

山田 優 教育部農学科

酪農専攻

佐々木菜実 教育部農学科

酪農専攻

小池 絢子 教育部農学科

果樹専攻

農業大学校同窓会全国連盟会長賞

長坂 俊紀 教育部農学科

作物専攻

精励賞

山田 佳尚 教育部農学科

鉢物・緑花木専攻

森本 貴之 教育部農学科

切花専攻

近藤 昂 教育部農学科

作物専攻

溝口 貴広 教育部農学科

果樹専攻

林 照夫 教育部農学科

露地野菜専攻

上杉 弘弥 教育部農学科

施設野菜専攻

若林あかり 教育部農学科

酪農専攻

丹羽 まゆ 教育部農学科

養豚・養鶏専攻

農業大学校の職員

〔平成二十九年七月一日現在〕 ○印は異動の職員

○校長 三浦 貞志

副校長 飯田 史生

〔管理課〕

○課長 浅原 仁

主幹 石塚 浩一

主査 横井 元弘

主事 畔柳奈緒子

○主事 榎 千鶴

非常勤 青木 理可

○非常勤 天野 浩子

〔教育部〕

部長 友松 啓二

(学務科)

科長 石黒さとみ

総括専門員 松下 康英

○主任専門員 鈴木 聡

主事 森居 祐子

再任用 杉山 邦雄

○再任用 坂口 卓司

非常勤 小林 和夫

○非常勤 長谷川 訓

○非常勤 梶野 訓司

○非常勤 辻 邦夫

(農学科)

(兼)科長 友松 啓二

科長補佐(花きG班長)

坂下 健

○主任専門員 野田 輝夫

○専門員 野村 浩二

○専門員 山田 稔

技師 紀岡 亮治

○非常勤 鶴田 瑞穂

科長補佐(作物果樹G班長)

横井 信之

主任専門員 坂野 満

主任 津田 健吾

技師 佐野 達也

再任用 伴 浩志

科長補佐(野菜G班長)

山本 厚

主任専門員 金子 良成

○主任 榎本 剛士

主任 安永美紗子

技師 内田 祐太

再任用 中西 英人

○科長補佐(畜産G班長)

中谷 洋

主任専門員 川上 幸裕

○主任専門員 山本るみ子

専門員 渡邊 久子

主任 西村 岳

○非常勤 宇佐見洋子

○非常勤 増田 結

(研究科)

科長 杉浦 兼之

主任主査 松原 和之

再任用 眞子 伸生

非常勤 神戸三智雄

〔研修部〕

(兼)部長 飯田 史生

○研修科長 石橋 良洋

主任専門員 田中 義信

専門員 加藤 夕子

主任 本庄 弘樹

○技師 石本 聖絵

○再任用 森山 勝史

○再任用 梶田 靖

非常勤 中村 彰

非常勤 大澤 史季

○非常勤 野村 芳江



## 平成28年度 会計決算報告

### 1 平成28年度 一般会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
2,318,064	1,834,728	483,336	自平成28.1.1 至平成28.12.31

(次年度へ繰越)

#### 収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
会費	1,700,000	1,700,000	0	農学科 85名 (@20,000円)
雑収入	200	77	△123	預金利息 28.2.21 68円 28.8.21 9円
理事会 清算金	0	6,000	6,000	2名欠席 (3,000円×2名)
東海・近畿農業大学校 同窓会ブロック活動費	0	60,000	60,000	農業大学校同窓会 全国連盟から受入
繰越金	551,987	551,987	0	
計	2,252,187	2,318,064	65,877	

#### 支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
全国連盟会費	63,364	65,364	△2,000	会員割20,000円 学生1名500円×89名 振込手数料864円
支部活動費	10,000	0	10,000	
技術部会 活動費	21,296	0	21,296	
旅費	100,000	71,339	28,661	東海近畿ブロック同窓会 会議(28.6.9~10)、全国連盟 総会(28.7.14)旅費
事務用品費	40,000	0	40,000	
会報発行費	850,000	804,372	45,628	同窓会報第32号 印刷・発送
会議費	150,000	102,942	47,058	役員会1回 28.1.27 理事会1回 28.2.9開催費 (旅費、昼食代、記念品料等)
賃金	10,000	0	10,000	
記念品費	221,000	137,096	83,904	卒業生記念品 (印鑑付ダブルペン、 図書カード)28.3.10
表彰費	70,000	0	70,000	
個人情報 業務委託費	130,464	130,464	0	会員アーケ年間管理料129,600円 振込手数料 864円
交際費	10,000	0	10,000	
繰出金	400,000	400,000	0	名簿作成基金 200,000円 創立記念基金 200,000円
予備費	176,063	123,151	52,912	東海・近畿農業大学校同窓会 ブロック活動費、東海・近畿農業大学校同窓会 ブロック活動費補助金ほか
計	2,252,187	1,834,728	417,459	

### 2 平成28年度 名簿作成基金会計収支決算

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
614,464	0	614,464	自平成28.1.1 至平成28.12.31

(次年度へ繰越)

#### 収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰入金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	20	38	18	28.2.21 35円 28.8.21 3円
名簿収入	0	3,000	3,000	名簿売上
繰越金	411,426	411,426	0	前年度より繰越
計	611,446	614,464	3,018	

#### 支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
予備費	611,446	0	611,446	
計	611,446	0	611,446	

### 3 平成28年度 創立記念基金会計収支決算

#### (1)普通預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
3,344,909	1,465,181	1,879,728	自平成28.1.1 至平成28.12.31

(次年度へ繰越)

#### 収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
繰入金	200,000	200,000	0	一般会計から
預金利息	500	290	△210	28.2.21 276円 28.8.21 14円
繰越金	3,144,619	3,144,619	0	前年度より繰越
計	3,345,119	3,344,909	△210	

#### 支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
80周年記念 事業記念品費	500,000	497,966	2,034	談話コーナー机・イス、傘立て
新寮建設 記念品費	1,000,000	967,215	32,785	食堂用丸イス、談話コーナーイス、 屋外用ベンチ、スリッパ、スリッパ立て
予備費	1,845,119	0	1,845,119	
計	3,345,119	1,465,181	1,879,938	

#### (2)定期預金

(単位 円)

収入総額	支出総額	差引残額	備考
500,306	0	500,306	自平成28.1.1 至平成28.12.31

(次年度へ繰越)

#### 収入の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	比較増減額	備考
預金利息	100	106	6	28.2.5 106円
繰越金	500,200	500,200	0	前年度より繰越
計	500,300	500,306	6	

#### 支出の部

(単位 円)

費目	予算額	決算額	差引残額	備考
予備費	500,300	0	500,300	
計	500,300	0	500,300	

## 平成29年度 会計予算

### 1 平成29年度 一般会計収支予算 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
会 費	1,780,000	1,700,000	80,000	農学科89名
雑 収 入	100	200	△100	預金利息
繰 越 金	483,336	551,987	△68,651	前年度より繰越
農大祭協力 依頼文印刷費	99,896	0	99,896	農大祭実行委員会から H28・29年度分
計	2,363,332	2,252,187	111,145	

### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
全国連盟 会 費	73,364	63,364	10,000	会員割 20,000円 学生1名 500円×105名 振込手数料 864円
支部活動費	10,000	10,000	0	5,000円×2支部
技術部会 活 動 費	21,296	21,296	0	10,000円×2部会 振込手数料 648円×2
旅 費	90,000	100,000	△10,000	東海近畿ブロック 会議、全国連盟総会 の出席旅費
事務用品費	40,000	40,000	0	文具等
会報発行費	810,000	850,000	△40,000	同窓会報発行・発送
会 議 費	100,000	150,000	△50,000	役員会、 理事会開催費
賃 金	10,000	10,000	0	
記念品費	231,400	221,000	10,400	卒業生記念品代 @2,600円×89人
表 彰 費	70,000	70,000	0	同窓会員の 表彰記念品代
個人情報 業務委託費	130,464	130,464	0	会員データ年間管理料 129,600円 振込手数料 864円
交 際 費	10,000	10,000	0	
繰 出 金	400,000	400,000	0	名簿作成基金 200,000円 創立記念基金 200,000円
予 備 費	366,808	176,063	190,745	
計	2,363,332	2,252,187	111,145	

### 2 平成29年度 名簿作成基金会計収支予算 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から繰入
預金利息	30	20	10	
名簿収入	0	0	0	
繰 越 金	614,464	411,426	203,038	前年度より繰越
計	814,494	611,446	203,048	

### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	814,494	611,446	203,048	
計	814,494	611,446	203,048	

### 3 平成29年度 創立記念基金会計収支予算

#### (1)普通預金 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
繰 入 金	200,000	200,000	0	一般会計から繰入
預金利息	200	500	△300	
繰 越 金	1,879,728	3,144,619	△1,264,891	前年度より繰越
計	2,079,928	3,345,119	△1,265,191	

### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	2,079,928	1,845,119	234,809	
80周年記念 事業記念品費	0	500,000	△500,000	
新寮建設記念品費	0	1,000,000	△1,000,000	
計	2,079,928	3,345,119	△1,265,191	

#### (2)定期預金 収入の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
預金利息	100	100	0	
繰 越 金	500,306	500,200	106	前年度より繰越
計	500,406	500,300	106	

### 支出の部

(単位 円)

費 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減額	備 考
予 備 費	500,406	500,300	106	
計	500,406	500,300	106	

## 事務局から

毎年「同窓会報」を発行するに当たり、住所不明等で多数の会員に会報が届いていません。会員の皆様で、住所や姓が変わるなど状況に変化があった場合、他の会員も含めて、その状況を事務局までお知らせください。

また、同窓会報の内容は農大ホームページの中の同窓会のページで見ることができます。

会員様の中でホームページを見るから同窓会報の送付を経費節約のために止めて頂いて結構と言われる方がお見えになりましたら、送付不要を希望される場合のみ、官製はがきにその旨を書き、住所氏名を記入し、10月31日までに農大事務局にご送付ください。その方のみ次号から送付を止めさせていただきます。

愛知県立農業大学校 同窓会事務局  
同窓会長 柴田 隆夫

〒444-0802 岡崎市美合町字並松1の2  
電話 (0564) 51-1601 F A X (0564) 51-4831

## 会員データについて

愛知県立農業大学校同窓会は株式会社廣済堂へ会誌の発送業務を委託いたします。その際、お預かりする個人情報、個人情報保護に関する日本の法令その他の規範を厳守して、左記目的の範囲でのみ利用いたします。

### 株式会社廣済堂の個人情報取扱について

● いただいた個人情報は、以下の目的で使用いたします。  
・ 学校ならびに同窓会からの通信文書および名簿の発送  
・ 同窓会が本来目的により活動する場合、必要と思われる作業を進行する際など合法的な目的のために活用する場合  
(同窓会側に準じます)

● ご提供いただいた個人情報については、株式会社廣済堂情報「コミュニケーション」メディア事業部データベア入課(以下弊社)が責任をもつて管理いたします。  
● 弊社は、当社が信頼に足ると判断した外部の企業に、個人情報のデータ処理ならびに発送作業を委託することがあります。

● ご提供いただいた内容は、本人の承諾なしに学校・同窓会関係者以外の第三者に開示することはありません。  
● 個人情報は原則として本人にかぎり、開示・訂正・削除を求めることができま